

## 平成29年度第2回鴨川市学校給食センター運営委員会会議録

1. 日 時 平成29年11月15日(水) 開会午後3時  
閉会午後3時45分
2. 場 所 学校給食センター2階会議室
3. 出席者
  - (1) 学校給食センター運営委員9名  
井藤機句男委員、高橋政人委員、永井悟委員、飯棲博志委員、刈込豊委員、黒野哲也委員、吉野恵梨子委員、山田典子委員、池田典子委員
  - (2) 月岡正美教育長
  - (3) 事務局 2名  
長谷川幹男学校給食センター所長、高橋雅史係長
4. 欠席者 2名 西川有紀委員、林宗寛委員

### 会議の概要

#### 1. 開 会

高橋係長：定刻となりましたので、只今から平成29年度第2回学校給食センター運営委員会を開催いたします。本日は、お忙しいところ、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます学校給食センターの高橋と申します。どうぞよろしく願いいたします。さて、本日の会議の出席者でございますが、委員数11名のうち、9名の方のご出席をいただいておりますので、学校給食センター設置条例第8条第2項の定足数に達しておりますことをご報告いたします。

ここで、飯棲会長よりごあいさつを申し上げます。

飯棲会長：皆さん、こんにちは。本日は平成29年度第2回学校給食センター運営委員会を開催させていただきましたところ、委員の皆様には大変お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。さて、学校給食の目的は「安全」・「安心」で栄養バランスが取れた給食を提供することは勿論のことですが、学校教育の一環として食の大切さや文化などを学ぶ「食育」を実施していくこと

も重要な目的となっております。また、最近、「おいしくない給食弁当」や「異物混入」など、学校給食に対して、さまざまな報道をよく耳にします。それに伴いまして、保護者の学校給食に対する関心が、より一層高くなってきていると感じられます。給食センターの皆様におかれましては、今後とも食中毒防止の基本である手洗いの励行を始め、調理の各工程における衛生管理に努めていただき、子ども達に「安全」で「安心」な給食を提供していただきたいと思っております。さて、本日の議題は、「学校給食費の改定について」であります。委員の皆様方には大変直結した、案件であると思われまますので、慎重なるご審議をよろしく願いいたします。

高橋係長：続きまして、月岡教育長よりごあいさつ申し上げます。

月岡教育長：こんにちは。教育長の月岡でございます。皆様方には、日頃、本市の教育行政にご支援をいただき、誠にありがとうございます。また、本日は、大変お忙しいところ、第2回学校給食センター運営委員会に出席をいただきまして、重ねてお礼を申し上げます。本日は、「学校給食費の改定について」、委員の皆様のご意見をお伺いしたく、運営委員会を開催させていただきました。本市の学校給食費は、平成22年度に改正して以来、7年間、据えおいております。消費者物価指数については、総合指数はこの3年間で3.4%の増にとどまっていますが、食料品は8.6%増となっています。また、お手元の資料2にありますとおり、給食センターが給食の食材として実際に購入している食材について、平成22年度と27年度の価格を調査しましたところ、5.42%の上昇となっております。給食センターでは、これまで、近年の葉物野菜等の高騰を初めとした食料品の物価上昇に対して、給食費を値上げすることなく、文部科学省の栄養基準を満たしながらも、季節の果物、デザート、食材を工夫するなどの対策を講じてきたところですが、しかし、安全・安心で栄養バランスにすぐれ、子どもたちに給食が楽しみだ、おいしいと言ってもらえる給食を提供するための献立作成が難しくなってきたことから、やむなく学校給食費の改定をお願いしたいと考え、本日、学校給食センター運営委員の皆様のご意見をお伺いするものです。なお、平成26年度から、本市が実施している給食食材費の3%相当額の補助につきましては、引き続き、子育て支援の観点から継続することとしております。この学校給食センター運営委員会は、給食センターの運営に関する重要な事項について調査、審査していただく機関です。この後、事務局からご説明をいたしますので、皆様には忌憚のないご意見をお願いします。本日は、よろしく願いいたします。

高橋係長：それでは、議題に移りたいと思いますが、議事の進行については、学校給食

センター設置条例第8条第1項に基づきまして、会長が議長を務めることとなっておりますので、飯棲会長よろしくお願ひいたします。

飯棲会長：只今ご指名をいただきました、会長の飯棲でございます。皆様のご協力をいただきながら議事を進めさせていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。それでは、議題に入る前に、議事録署名人を選出したいと思ひますが、私の方からご指名してもよろしいでしょうか。

(承認あり)

飯棲会長：ありがとうございます。それでは、井藤 機句男委員にお願ひいたします。それでは、議題に移りたいと思ひます。議題1【学校給食費の改定について】事務局の説明を求めます。

長谷川所長：それでは、学校給食費の改定につきまして、説明させていただきます。学校給食センターでは、平成29年5月1日現在で、幼稚園8園と認定こども園のアワーズへの園児412名、小学校8校と千葉県立安房特別支援学校鴨川分教室の児童1,439名、中学校3校の生徒711名、また、それに伴います教職員329名併せまして、1日約2,900食、年間に致しまして約564,000食の給食を提供いたしております。また、保護者の皆様からご負担をいただいております、給食費でございますが、給食材料を購入するため、1ヶ月分の給食費は、幼稚園は4,200円、小学生は4,300円、中学生は4,900円を、それぞれ負担をいただいております。学校給食を取り巻く近年の社会情勢ですが、原油価格の高騰や円安から、小麦・牛乳・日常品等の多くの食材が値上がりしたことを受け、安全で安心な給食の確保や学校給食栄養摂取基準を満たすための献立の作成には、大変苦慮をいたしております。本市におきましては、給食材料の値上がりがあったことの対応策といたしまして、食材の大量購入、そして、安価な食材に切り替えなどによりまして、保護者の皆様からご負担をいただいております給食費を有効に使う努力をしてきたところです。このような中、資料2をご覧ください。平成22年度と平成27年度に使用致しました品目を調査し、その中で共通の291項目の給食材料の拾い出しを行い、給食材料の価格変動調査をいたしました。表の左側が27年度の食材、右側は前回改定時の22年度の価格となります。27年度の欄を見ていただきますと、左から食品群、品目、単位、単価、27年度使用件数となっております。1行目の穀類、白麦ビタミン強化品1袋当たり262円、毎月使用しておりますことから11件となり平均価格を表記しております。22年度も同様で1袋26

7円、22年度と27年度を比較しますと、27年度の単価は1.87%安くなっているとなります。各品目は業者別となります。裏面の2ページをご覧ください。中段、秋鮭切り身40グラムの27年度単価は1個あたり44円、22年度は36円で22.2%価格の上昇がありました。このページでは魚介類、肉類の価格が上がっております。5ページをご覧ください。主食の米飯、パン、牛乳の覧では、米飯では幼小中の価格は約1%減少しております。資料は添付しておりませんが26年度の収穫が良かったために26年度27年度は、22年度と比較しますと、単価は下がっております。基本パンにつきましても、小麦の上昇により約15%上がっております。牛乳につきましても約10%上がっております。給食費の主食の占める割合は約40%であります。近年も更に上昇しており大変厳しい状況であります。このように、平成27年度と、22年度の価格比較は、全体で5.42%の価格の上昇があったことが判明いたしました。資料1をご覧ください。表の中程の左に幼稚園、小学校、中学校の各日額が表記されておりますが、幼稚園ですと日額237円に、価格上昇の5.42%を乗じ、249.85円となり、端数調整を行い250円に。これに年間給食提供日数195日を乗じ更に提供月数の11ヶ月で割り4,431.82円となり、月額単価が4,400円となります。そして幼稚園は月額4,200円から4,400円に、200円の増額、同様に計算しますと、小学校は月額4,300円から4,600円に、300円の増額、中学校は月額4,900円から5,200円に、300円の増額といたしたいものでございます。資料3をご覧ください。平成17年に合併が行われ安価な単価を採択し、17年度で若干の値下げをし、平成22年度に現在の給食費に改定をしております。資料4をご覧ください。安房管内の給食費の状況であります。南房総市と鋸南町は平成26年度に、館山市は28年度から改定しております。本市は改定以来7年間据え置いております。資料5をご覧ください。県内54市町村の給食費1食あたりの小中学校の一覧です。本市は安い水準に位置しております。このようなことから、近年の社会情勢等により、食材費の高騰を受け献立内容の工夫等に、鋭意努力に努めてきましたが、子どもたちのために安全でおいしい給食を安定的に提供するという学校給食法の本来の使命を維持するため改定をお願いしたいものです。今回の給食費の改定により献立の変化として、旬な食材をはじめ、季節の果物やデザートなどの回数の増加、まぜごはんやパンの味のバリエーションなど主食の種類増加、魚の多様化等の献立内容の充実を図り、また地元産物を取り入れた地産地消の推進を図っていきたいと思います。以上で学校給食費の改定についての説明を終わります。

飯棲会長：只今、事務局より説明がありましたことにつきまして、質疑に入ります。

何か質疑ございますか。

刈込委員：給食センターでは、県内54市町の給食費の調査を行ったようですが、各自治体間で、給食費の単価に結構な差がありますが、何か理由がありますか。

高橋係長：例えば、近隣の鋸南町では、センター内で炊飯を行っているため、炊飯を委託している給食センターより安価で給食を提供できるなど、各センターで条件が異なっていることによって、給食費の差が生じてきております。

長谷川所長：鋸南町では、約500食ということで、センター内での炊飯は可能であるが、本センターでは、2,900食の給食を提供しているため、かなりの量の炊飯施設が必要となり、人員配置も必要となる、また、建設当時そのような考えがなかったため、設置するスペースもないので、学校給食会を通じて炊飯を委託しているため、若干費用が要しています。

月岡教育長：給食センターでは、現在鴨川産のコシヒカリを使用していますが、例えばふさおとめに変更することによって、米の単価も安くなり、コストが下げられることもある。

飯棲会長：平成27年度と22年度の食材の価格比較表を見ますと、大部分の食材が値を上げているため、値上げもやむをえないと思う。

山田委員：材料費の高騰で、給食費が上がるのは納得するが、給食費が上がることによって、現状よりデザートや旬の物が提供されると説明を受けましたが、その通りになりますか。

長谷川所長：全てに旬の物を提供することは難しいですが、でき得る限り増やしていきたい。また、ごはんやパンなどにもわかめごはんやバターロールパンなどバリエーションを増やし、見た目でも分かるようにしたい。

高橋委員：物価が高騰しているため、料金改定をしなければならないことは理解しましたが、実際に負担をするのは保護者なので、料金改定は単に物価が上がったためということではなく、料金を改定したので、給食の内容がこのように良くなりましたとアピールをすることにより、保護者は負担増を理解していただけたと思います。

黒野委員：今後のスケジュールはどうなっておりますか。

長谷川所長：本日の運営委員会で承認をいただけたならば、次回の定例教育委員会において、同様の説明をさせていただき、例規の改定をする予定であります。その後、市議会に報告いたします。年明けには、学校を通じて保護者には通知をして、それにあわせて広報で周知いたします。

月岡教育長：保護者への通知の際は、料金を改定することによって、どの様に給食が変わるのが、値上げのメリットを記載したい。

刈込委員：前回の運営委員会の際に、28年度の決算の歳出の材料費と歳入の給食費に差があったが、今回の値上げ分と3%の補填分でその差をまかなうということか。

長谷川所長：決算の収入と支出の差は、食材費の3%相当分の補填費用約430万円、アレルギーフリー食材の購入費120万円、検食代などの市が負担している費用が差となっております。そして、今回の改定分は給食食材のバリエーションを増やすなどに費やされ、その差を補填するものではありません。

飯棲会長：それでは、ほかに質疑なしということでございますので、議題（1）について承認することよろしいでしょうか。

(はい)

飯棲会長：それでは、議題（1）を承認することといたします。本日、予定しておりました議題は全て終了いたしましたので、以上をもちまして議長職を解かせていただきます。本日はありがとうございました。

高橋係長：飯棲会長、お疲れ様でございました。また、円滑な議事進行大変ありがとうございました。続きまして、会議次第5番目の、その他に移りたいと思います。その他として、皆様方から、ご質問等ございますか。忌憚のないご意見をお願いします。

長谷川所長：料金改定の件、ご承認をいただきましたので、先程スケジュールをお話をさせていただきましたけれども、最終的には資料の6にあります、鴨川市学校給食センター管理運営規則の第2条の分の改正が必要となります。こち

らにつきましては、月額と日額を只今了承いただきました金額で改正する作業を進めさせていただきますので、ご承知していただければと思います。

飯棲会長：本日の件につきましては、公表してよろしいですか。

月岡教育長：P T Aなどで説明してはいけないということではありませんが、説明する際には、運営委員会では承認されましたけれども、これから教育委員会会議などで承認して頂く必要がありますので、まだ正式ではないことを説明していただければ、問題ありません。

高橋係長：他にないようですので、以上を持ちまして学校給食運営委員会を終了させていただきます。本日は、ありがとうございました。

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をします。

平成29年12月15日

(会議録署名人)

鴨川市学校給食センター運営委員

氏名 井藤 機句男 印